

# 公 示

独立行政法人国際協力機構（以下「機構」という。）がコンサルタント等との業務実施契約に基づき実施する予定の案件を公示します。

これら案件の選定に当たっては、企画競争（プロポーザル方式）を採用します。

プロポーザル作成に係る業務指示書を各案件の公示において指定する日（小規模と位置付けられている案件については、原則本日）から配布しますので、応募のためのプロポーザル作成に当たっては、同業務指示書に基づき、当機構ホームページで公開している「プロポーザル作成要領」に従って作成願います。

なお、公示に関する照会は調達部（Tel:03-5226-6612）あてにお願いします。  
注）本公示に係る業務指示書及び配布資料等の配布については、電子データをダウンロードする方法で行います。具体的な配布方法は、当機構HPの調達情報＞お知らせ＞「業務指示書等の電子配布本格導入について【コンサルタント等契約】」（[http://www.jica.go.jp/announce/information/20130410\\_01.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20130410_01.html)）を参照願います。

2014年1月22日

独立行政法人国際協力機構  
契約担当役  
理事 小寺 清

## 【1. プロポーザル提出の資格】

以下のプロポーザル提出の資格には十分ご留意ください。

プロポーザル提出の有資格者（共同企業体を編成する場合の構成員を含む）は、平成25・26・27年度全省庁統一資格を有する者、同資格を有していない場合は機構の事前資格審査を受けている者に限ります。資格の詳細については、当機構ホームページ「競争参加資格審査」

（<http://www.jica.go.jp/announce/screening/index.html>）を参照願います。

会社更正法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の適用の申し立てを行い、更生計画又は再生計画が発効していない者は、プロポーザル提出の資格がありません。

また、機構から「独立行政法人国際協力機構契約競争参加資格停止措置規程」（平成20年10月1日規程（調）第42号）に基づく契約競争参加資格停止措置を受けている期間中においては、プロポーザル提出の資格がありません。具体的には、以下のとおり取り扱います。

- ・プロポーザルの提出締切日が資格停止期間中の場合、プロポーザルを無効とします。
- ・資格停止期間中に公示され、プロポーザルの提出締切日が資格停止期間終了後の案件については、プロポーザルを受付けます。
- ・資格停止期間前に、契約交渉相手方として通知されている場合は、当該コンサルタント等との契約手続きを進めます。
- ・契約交渉相手方として通知される前に資格停止期間が始まる案件のプロポーザルは無効とします。

## 【2. 業務指示書の配布】

業務指示書及び配布資料等の配布については、上記1. に示すプロポーザル提出の有資格者のみに限定します。

平成25・26・27年度全省庁統一資格を有している場合は、業務指示書の配布時に、全省庁統一資格結果通知書（写）及び情報シートを提出願います。なお、既に一度同（写）を機構に提出頂き、機構から「整理番号」を通知されている方については、同番号を提示頂くだけで結構です。

また、平成25・26・27年度全省庁統一資格を有していない場合は、機構の事前資格審査を受けて頂き、その結果通知書（写）に示す「整理番号」を提示願います。事前資格審査は、申請いただいたから2～3営業日で結果通知させていただきます。

なお、業務指示書に限っては、事前資格審査申請中でも配布させていただきますので、その場合は、申請書の受領書（写）等を提示願います。

詳しくは、機構ホームページ（<http://www.jica.go.jp/announce/screening/index.html>）をご確認ください。情報シートの様式も同ページに掲載しております。

## 【3. 情報の公開について】

本公示により、プロポーザルを提出するコンサルタント等においては、その法人、個人、団体名を、コンサルタント等契約情報として機構ホームページ上に原則公表しますのでご承知下さい。

また、本公示により契約に至った契約先に関する情報を機構ホームページ上で公表することとします。本内容に同意の上で、プロポーザルの提出及び契約の締結を行っていただきますようご理解をお願いいたします。

なお、プロポーザルの提出及び契約の締結をもって、本件公表に同意されたものとみなさせていただきます。

具体的には、「公共調達の適正化について」（平成18年8月25日付財計第2017号）に基づき、下記リンクのとおり契約に係る情報を公表します。

（<http://www.jica.go.jp/announce/proper/domestic/index.html>）

また、下記（1）に該当する場合は右リンクのとおり契約に係る情報を公表します。

([http://www.jica.go.jp/disc/keiyaku\\_0701.html](http://www.jica.go.jp/disc/keiyaku_0701.html))

- ( 1 ) 公表の対象となる契約相手方 ( 共同企業体を結成する場合は共同企業体の構成員を含む。 )  
次のいずれにも該当する契約相手方を対象とします。  
ア . 当該契約の締結日において、当機構で役員を経験した者が再就職していること、又は当機構で課長相当職以上の職を経験した者が役員等(注)として再就職していること  
注) 役員等とは、役員のほか、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言することなどにより影響力を与え得ると認められる者を含む。  
イ . 当機構との間の取引高が総売上又は事業収入の3分の1以上を占めていること
- ( 2 ) 公表する情報  
契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約相手方の氏名・住所、契約金額とあわせ、次に掲げる情報を公表します。  
ア . 対象となる再就職者の氏名、再就職先での現在の職名、当機構での最終職名  
イ . 契約相手方の直近3カ年の財務諸表における当機構との取引高  
ウ . 契約相手方の総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引割合  
エ . 一者応札又は応募である場合はその旨
- ( 3 ) 当機構の役職員経験者の有無の確認日  
当該契約の締結日とします。
- ( 4 ) 情報の提供  
契約締結日から1ヶ月以内に、所定の様式にて必要な情報を提供頂くことになります。

番号： 1 国名：カンボジア 担当：東南アジア・大洋州部  
案件名：プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業フェーズ2準備調査  
調査区分：プロジェクト形成（有償）

1 契約予定期間：2014年4月上旬～2015年3月下旬

2 参加要件

海外における電力セクター開発に係る調査業務経験を有し、同分野の専任技術者を配置できること。

3 参加資格のない社等

特になし

4 今後の選定プロセス（予定）

- (1) 業務指示書等配布依頼書受付期間：2014年2月5日から2014年2月7日17：00まで  
受付時期が遅れる場合は、当機構HPにて告知します。  
依頼書は電子メールにて受付いたします。（冒頭留意事項2．参照）
- (2) 業務指示書等ダウンロード期間：2014年2月5日から2014年2月10日23：59まで  
上記期間であれば、ダウンロードは土日祝日を含め、24時間可能です。
- (3) プロポーザル提出：2014年2月21日12：00まで  
プロポーザル提出期限については、業務指示書に記載のものが最終のものとなります。
- (4) 選定結果通知 : 3月上旬
- (5) 契約交渉 : 3月中旬

5 業務の目的

カンボジアは、近年、縫製業、観光業、農業に牽引され安定した経済成長を続けている。2012年は7.3%のGDP成長率を達成しており、今後も高い成長が見込まれている。経済成長に伴い電力需要も急速に拡大しており、2003年から2010年までの販売電力量は年平均20.9%拡大しており、電力セクターにおける設備拡充が喫緊の課題となっている。とりわけプノンペンは、人口約150万人を抱え国内電力需要のうち約7割（68.4%）を消費している経済・社会の中心地であり、同地区の電力安定供給はカンボジア電力公社（EDC）にとって最優先課題となっている。しかし、現在、送変電・配電設備の容量の限界や系統制御システムの未整備から、停電発生時に停電エリアが大きくなり、また、復旧に長時間を要する状況にある。この状況を改善するためには、送電・変電・配電設備の増強は不可欠であり、早急な取り組みが必要である。

以上の状況を受け、JICAは、プノンペンにおいて送変電設備の増設並びにそれに関連する配電設備の整備のための「プノンペン首都圏送配電網整備事業準備調査」を実施し、円借款「プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業」のL/A署名を予定している。本調査は、その後続事業として、プノンペンにおいて送電・変電・配電設備の整備に係る案件の形成を行うものである。

本調査は、当該事業の目的、概要、概略事業費、事業実施体制、運営・維持管理体制、寛容社会配慮等、我が国が有償資金協力として実施するための審査に必要な調査を行うことを目的として実施する。

6 業務の範囲及び内容

- (1) 業務対象地域  
プノンペン
- (2) 相手国実施機関  
カンボジア電力公社(EDC: Electricite Du Cambodge)
- (3) 業務内容  
ア 「カ」国電力セクターの現況の確認  
イ プノンペンにおける送・変・配電設備開発計画のレビュー  
ウ 現在のプノンペンの送・変・配電設備の分析  
エ 環境社会配慮に係る調査の実施  
オ 実施可能性調査の実施  
カ 事業実施の運営維持管理体制の確認

7 成果品等

- (1) インセプションレポート (2014年 4月上旬)
- (2) インテリムレポート (2014年 6月中旬)
- (3) ドラフトファイナルレポート (2014年 8月中旬)
- (4) ファイナルレポート (2014年 10月中旬)

8 主要な分野及び評価対象予定者

- (1) 総括/系統計画（評価対象予定者）
- (2) 電力需要予測/系統解析（評価対象予定者）
- (3) 土木
- (4) 送電設備
- (5) 変電設備
- (6) 配電設備
- (7) 環境社会配慮
- (8) 経済・財務分析

9 特記事項

- ・ 共同企業体の結成を認める予定

注：本案件概要は予定段階のもので詳細については変更される場合があります。